

平成26年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471200137	事業の開始年月日	平成13年4月1日	
		指定年月日	平成18年4月1日	
法人名	社会福祉法人 麗寿会			
事業所名	ふれあいの家 こすもす			
所在地	(253-0105)			
	神奈川県高座郡寒川町岡田7-3-3			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	17	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成27年1月27日	評価結果 市町村受理日		

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wp/Details.aspx?IGNO=ST1471200137&SVCD=320&THN0=14321
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「ゆっくり・一緒に・楽しみながら」ご入居者に生活して頂けるよう、ご入居者の声にしっかりと耳を傾けることに職員は日々努めています。また、安心して生活して頂けるよう、ケアカンファレンス等を通じてご入居者の心身変化に目を向け、職員間での情報共有に力を入れています。個々人の思いを捉え、出来るだけ現在の生活を続けて頂けるよう、自立支援に基づくケアについて検討を重ねて、実践につなげています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成27年2月13日	評価機関 評価決定日	平成27年5月18日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所はJR相模線寒川駅から徒歩20分弱、または茅ヶ崎駅よりバスで「県営住宅前」下車、徒歩で5分弱の住宅街にあります。「ふれあいの家こすもす」は開設して14年目になる寒川町で2カ所あるグループホームの一つです。事業所は3階建建物の1・2階に位置し、3階は寒川町の子育て支援センター、隣接して同法人の認知症対応型デイサービスがあります。

<優れている点>

「ゆっくり・一緒に・楽しみながら」を開所時より理念に掲げ、利用者の声に耳を傾け「させて頂くケア」に徹しています。利用者の意思決定を大切にし、行動を促す前は必ず言葉かけをしています。一人ひとりの思いを汲み取り、カンファレンスで検討し、やりたい事、出来る事を計画に入れて、日々、実施しチェックしています。各ユニットに利用者ごとのサービス計画・介護記録・経過記録などが1ページにまとめられた大型ファイルが置かれ、一人ひとりの利用者計画に基づいた適切な支援が出来るようになっていきます。また、事業所は地域の福祉拠点として、散歩時の付き添い、話し相手、車イスダンス・ギター演奏、演芸など様々なボランティアの受け入れをしています。

<工夫点>

事業所は隣接して同法人の認知症対応型デイサービスがあり交流が盛んです。運動会を合同で開催する他、デイサービスの休日には事業所の利用者誕生会やボランティアによる演芸などをデイサービスホールを活用して開催しています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ふれあいの家 こすもす
ユニット名	1階ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念とは別に、「ゆっくり」「一緒に」「楽しみながら」という事業所理念を持ち、その人らしい生活の援助に努めている。	事業所の理念により、職員は利用者の思いをくみ取り、やりたいこと、できることを現実の生活で続けられるようお手伝いする、「させて頂くケア」に徹しています。職員は毎日の活動時や困った時に理念に戻るようになっています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所のお祭り等に参加させて頂いたり、ボランティアさんにお越し頂きたりして、地域との交流を図っている。	地域の福祉拠点として、寒川町から受託した認知症介護者教室を開催しています。また、散歩時の付き添い、話し相手、ギター演奏、演芸など様々なボランティアの受け入れをしています。近隣の職員が地域とのつきあいの輪を広げています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方に認知症についての理解や介護についての理解を深めて頂くために「認知症介護者教室」を受託事業として開催している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の内容を定例会にて報告し、職員全体で共有できるように取り組んでいる。	次回の運営推進会議は、3月に開催するよう準備を進めています。テーマは事業所の活動報告と防災訓練を計画しています。	運営推進会議は年間の計画で定期的開催し、情報交換したり、各種の課題が論議されることが期待されます。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	連絡、報告は行政の窓口にて担当者と直接話をする事で情報交換をするように努めている。	制度上のグレーゾーンの問合せ、利用者の生活に関する相談をしています。「認知症介護者教室」を町の講座として受託し開催しています。月2回の介護相談員を受け入れています。地域の事業所連絡協議会に参加し情報交換の場としています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止推進モデル施設として常に意識を持って取り組んでいる。	神奈川県モデル施設として、言葉による拘束を含め、全体の会議で内部研修しています。赤外線等のセンサーの導入について意見交換しています。玄関は3階に子育て支援センターがありオープンです。各ユニットへのドアは施錠しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修をはじめ学ぶ機会を持ち、伝達講習・資料配布をする事によって周知徹底に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設外研修にて学ぶ機会を持ち、学ぶ機会を得ている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書・重要事項説明書・料金表を用いて、内容説明を行い、同意して頂いた上で契約を結んでいる。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様からの意見を伺えるよう、意見箱を設置している。介護相談員を受け入れることで、入居者ご本人が相談できる場を作り、共通理解に努めている。	職員は専門知識や技術を持って、いつも明るく元気にふるまうようにしています。家族へは近況報告を2～3ヶ月に1回報告しています。利用者・家族からの意見は連絡ノートにまとめ、引き継いでいます。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	提案箱を用意し改善すべき事項があれば職員の意見を反映させるようにしている。また、定例会議等にて職員が意見・提案できる時間を設けている。	職員の意見を取り入れやすいよう、ユニットごとのリーダー制と居室担当制を取り入れています。行事担当として活躍の場もあります。会議はユニット会議の他全体会議、職員会議等もあり、発言の場が多くあります。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課制度を採り入れ、職員・上司と双方の意見をすり合わせ、給与ややりがいに反映させている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人に研修センターを設置しており、雇用形態を問わず、全職員対象の研修会を実施している。階層別研修や外部研修にも参加し、学ぶ機会を持てるよう取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域の事業所連絡協議会に参加し、各事業所との情報交換に努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居希望の問い合わせのあった場合、ご本人・ご家族にできる限り見学をして頂いている。本人の希望を伺い、ケアマネージャー等からの情報も合わせることで本人像の理解に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設見学に来て頂いたり、ご自宅に訪問させて頂いたりして、家族の希望や思いを伺い、サービス内容へ反映していく様にしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	どのように援助が必要か十分にアセスメントを行い、必要なサービスにつなげられるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	普段の生活の中で利用者の意思・意欲を汲み取り、暮らしを共にする形でさりげなく支援出来るようにしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族から情報提供を受けたり、ご家族の思いを伺ったりして、これまでの生活を理解し、援助方法について検討し、実施をしている。また、必要に応じてご家族の協力をお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人とこれまでの交流を引き続き行えるよう、自由に来園して頂いている。	近隣からの入居が多く、買い物帰りに友人や家族が寄り、居室で時間を過ごしています。自宅近くへの散歩コースもあります。家族と家に帰る人もいます。季節を感じる花見、七夕等のほか年賀状や書初めの作品作りも思い出となっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個人を尊重し、皆さんで安心して生活して頂けるように配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了後も何かあればいつでも相談を受けられることをお伝えしている。ご家族がボランティア等として訪問して下さることもあり、継続した関係の維持に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	各ユニットでカンファレンスを行い、ご本人の意向や希望について検討をしている。現状も踏まえたご本人の意向に添った援助となるよう、共有化を図り、実践している。家族の意向も伺うようにしている。	利用者の思いを日常の生活の場で汲み取り、カンファレンスで検討し、やりたい事、出来る事を計画に入れて、日々実施しチェックしています。できる作業を頼む機会を増やし、より充実した生活に反映されるようにしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴や生活リズム等の情報をご本人やご家族、ケアマネジャー等から集めている。集約した情報を全職員が理解出来るようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人の「出来る事」「わかること」等を整理して職員が把握できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族の希望や意向を伺い、心身状況を踏まえた上で、支援方法についてカンファレンスにて検討し、介護計画に反映している。	利用者ごとのサービス計画・介護記録・経過記録などがまとめられた大型ファイルを使用し、一人ひとりの利用者の計画に基づいて適切に支援しています。この内容をもとに居室担当が近況報告しカンファレンスで検討して計画に反映しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のケース記録を基にして介護計画の見直しをしている。職員がケアプランの理解、実践を行う様に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法人内の他事業所で行っている体操教室や行事等に積極的に参加し、機能維持に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者の近隣の友人や地域のボランティアの方々に訪問して頂き、馴染みの関係を築いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所の際にご本人、ご家族の意向を確認し、かかりつけ医を選択して頂いている。必要に応じ、かかりつけ医と相談をしていき、ご本人にとって適切な医療につなげるようにしている。	入居時にかかりつけ医の選択をしています。事業所の訪問医を利用する人、入居前の主治医が訪問診療している利用者、外部の診療機関を受診する人など様々です。事業所の訪問医とは常時相談ができ、必要に応じて往診が可能になっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	連携病院（往診クリニック）のコールセンターの活用や法人内他事業所健康管理室との連携にて健康管理を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院側への情報提供及びケースワーカーとの連絡調整を行い、入院以後の方向性について調整、検討に努めている。協力病院との連携により救急時の対応も迅速に行えている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療面、設備面における対応範囲を明らかにし、ご本人・ご家族の希望を含めて、「出来る限り苦痛の無い楽しい時間を過ごすこと」の支援に努めている。ご本人にとってより良い生活を日々検討している。	利用者が重度化した場合、医療面、設備面での制約があり、本人、家族の希望を踏まえて可能な範囲での対応になっています。看取りの経験もあり、重度化や終末期に向けた指針の策定などについて前向きに考えています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時のマニュアルを作成し、周知している。業務内やカンファレンス等で周知徹底をしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を実施し、災害時の対応を身につけると共に、地域の皆さんに協力を頂けるよう施設の事を理解して頂いたり、助言して頂いたりしている。	今年度の避難訓練は3月に、消防署立ち合いのもとで併設施設と合同で実施する予定になっています。「夜間、夜勤体制における火災発生時の対応」を整備して緊急時に備えています。災害用の水、主食、副食など備蓄を進めています。	「夜間、夜勤体制における火災発生時の対応」を整備し、地域の消防団との関わりも進んでいますが、避難訓練の実施が少なくなっています。訓練回数検討が期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの意思を尊重し、周囲への配慮も意識した言葉掛けを行っている。個人情報に関しては同意書を取り、管理徹底をしている。	利用者本人の意思を尊重する事を大切にしています。何をする場合でも必ず、事前に言葉かけをして確認し、無理強いをしないようにしています。言葉かけでは相手が不快に感じないように、指示的、命令的にならないように努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	リズムある生活となるよう、1日の流れを作り支援をしている。但し、ご本人の意向を確認しながら、臨機応変な対応にも努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床から食事時間、レクリエーション、入床まで一日の流れにおいてもご本人の意思を尊重して本人のペースに合わせて生活して頂けるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合った衣類を用意し、できる限りお好みのものを選択して頂いている。定期的にヘアカット等も実施している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者のそれぞれの「出来ること」や「得意なこと」を大切に、それぞれの方の状況を見て、食事の下ごしらえや盛り付け、食器の片付け等を一緒に行うようにしている。	利用者の状況や希望によって柔軟に対応し楽しめるように工夫しています。食欲が落ちている利用者には別に好みの物を添え、飲酒好きの人には晩酌会を設けています。誕生日には希望を聞き、うなぎや寿司などで全利用者一緒に楽しんでます。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の摂食量を確認し、記録して状態を把握している。心身状況に合わせた状態での提供や好みに合う適したものを用意している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯磨きの声かけをさせてもらっている。義歯は夜間消毒を行い衛生面に注意している。訪問歯科による口腔点検や必要に応じた治療を受けてもらっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレの声かけや誘導介助を行い、できる限りトイレでの排泄を目指している。	トイレでの排泄を大切にし、全利用者の排泄状況を記録して適切なトイレ誘導に努めています。トイレ設置場所の関係で夜間はポータブルトイレを使用する利用者が多くなっています。失禁時には温めたタオルで清拭をして清潔に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体を動かす時間を設けたり、好みの水分を用意し、摂取して頂くよう促している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	ゆっくりと入浴して頂けるよう、行事などの日程と調整をしながら、時間を確保している。ご本人のその時の気分や状態に合わせてお誘いさせてもらっている。	1階は2～3人用の浴室、2階は家庭用の浴室が設置されています。入浴は基本的に週3日1対1で対応していますが、安全のため、2人で対応することもあります。浴室は入浴前に温めて気持ち良く入れるように配慮し、希望に応じて同性介助をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間の安眠を確保できるよう、一人ひとりのペースに合わせて日中過ごして頂くように努めている。体調も考慮して、必要な休養をすすめている。寝具の保清にも注意し、心地良い眠りの提供に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方毎に個別ファイルの薬カードを更新し、職員が服薬内容を把握できるように努めている。往診時の医師からの指示等、情報提供書として現場職員へ提示している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食器洗いや掃除機かけ、洗濯干し等自らの意思で快く行って頂けるようにお声掛けさせて頂いている。また、いきいきと生活出来るよう様々なレクリエーションも行い、楽しみある生活を支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年間行事に沿って季節にあった計画を立て、実施している。ご家族にも行事案内し、参加を募っている。外気浴や散歩、買い物は適宜対応している。	事業所周りの散歩やプランター野菜の水やりをかねての外気浴や日光浴をしたり、職員と買い物に出かける事もあります。また、春のバラ園ピクニック・紫陽花見学・伊勢原の牧場など、季節ごとに車で出かけてホームページで家族に報告しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物の希望がある時は職員が付き添わせて頂き、好みの物を購入できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	職員が取り次ぎ、電話して頂けるようにしている。手紙等の郵便についても近くのポストまで職員が付き添わせて頂き、ご本人に投函して頂いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースに手作りの作品や思い出の写真等を飾り、いつでも見て楽しめるようにしている。また、日付けがわかりやすいように手作りの大きめのカレンダーを用意している。季節感ある空間づくりに努めている。	事業所は廊下が長く、2階廊下の一角には長椅子風の休憩場所を作り、利用者の居場所になっています。リビングの窓からは富士山が望め、壁面には利用者の作品や行事の写真を掲示してソファなどを置き寛げる場所になっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室及びフロアにて一人ひとりがくつろいで頂ける様な空間づくりに努めている。落ち着ける静かな場所も設けている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具等を持ち込んで頂くことで安心して過ごして頂けるようにしている。また、好きな物を飾る等して居心地の良い空間作りに努めている。	居室は洋室と和室があり8畳ほどの広さですが、広い押入れと洋服ダンスが備え付けられていて収納量は十分あります。入りロドアの窓にはのれんをかけてプライバシーに配慮し、カーペットを敷いたり机などを持ち込み居心地良くしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置や段差の保護を行い、安全配慮に努めている。できることはご自身で行って頂けるように声掛け、一部介助をさせて頂いている。		

事業所名	ふれあいの家 こすもす
ユニット名	2階ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念とは別に、「ゆっくり」「一緒に」「楽しみながら」という事業所理念を持ち、その人らしい生活の援助に努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所のお祭り等に参加させて頂いたり、ボランティアさんにお越し頂きたりして、地域との交流を図っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方に認知症についての理解や介護についての理解を深めて頂くために「認知症介護者教室」を受託事業として開催している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の内容を定例会にて報告し、職員全体で共有できるように取り組んでいる。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	連絡、報告は行政の窓口にて担当者と直接話をする事で情報交換をするように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止推進モデル施設として常に意識を持って取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修をはじめ学ぶ機会を持ち、伝達講習・資料配布をする事によって周知徹底に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設外研修にて学ぶ機会を持ち、学ぶ機会を得ている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書・重要事項説明書・料金表を用いて、内容説明を行い、同意して頂いた上で契約を結んでいる。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様からの意見を伺えるよう、意見箱を設置している。介護相談員を受け入れることで、入居者ご本人が相談できる場を作り、共通理解に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	提案箱を用意し改善すべき事項があれば職員の意見を反映させるようにしている。また、定例会議等にて職員が意見・提案できる時間を設けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課制度を採り入れ、職員・上司と双方の意見をすり合わせ、給与ややりがいに反映させている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人に研修センターを設置しており、雇用形態を問わず、全職員対象の研修会を実施している。階層別研修や外部研修にも参加し、学ぶ機会を持てるように取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域の事業所連絡協議会に参加し、各事業所との情報交換に努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居希望の問い合わせのあった場合、ご本人・ご家族にできる限り見学をして頂いている。本人の希望を伺い、ケアマネージャー等からの情報も合わせることで本人像の理解に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設見学に来て頂いたり、ご自宅に訪問させて頂いたりして、家族の希望や思いを伺い、サービス内容へ反映していく様にしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	どのように援助が必要か十分にアセスメントを行い、必要なサービスにつなげられるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	普段の生活の中で利用者の意思・意欲を汲み取り、暮らしを共にする形でさりげなく支援出来るようにしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族から情報提供を受けたり、ご家族の思いを伺ったりして、これまでの生活を理解し、援助方法について検討し、実施をしている。また、必要に応じてご家族の協力をお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人とこれまでの交流を引き続き行えるよう、自由に来園して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個人を尊重し、皆さんで安心して生活して頂けるように配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了後も何かあればいつでも相談を受けられることをお伝えしている。ご家族がボランティア等として訪問して下さることもあり、継続した関係の維持に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	各ユニットでカンファレンスを行い、ご本人の意向や希望について検討をしている。現状も踏まえたご本人の意向に添った援助となるよう、共有化を図り、実践している。家族の意向も伺うようにしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴や生活リズム等の情報をご本人やご家族、ケアマネジャー等から集めている。集約した情報を全職員が理解出来るようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人の「出来る事」「わかること」等を整理して職員が把握できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族の希望や意向を伺い、心身状況を踏まえた上で、支援方法についてカンファレンスにて検討し、介護計画に反映している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のケース記録を基にして介護計画の見直しをしている。職員がケアプランの理解、実践を行う様に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法人内の他事業所で行っている体操教室や行事等に積極的に参加し、機能維持に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者の近隣の友人や地域のボランティアの方々に訪問して頂き、馴染みの関係を築いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所の際にご本人、ご家族の意向を確認し、かかりつけ医を選択して頂いている。必要に応じ、かかりつけ医と相談をしていき、ご本人にとって適切な医療につなげるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	連携病院（往診クリニック）のコールセンターの活用や法人内他事業所健康管理室との連携にて健康管理を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院側への情報提供及びケースワーカーとの連絡調整を行い、入院以後の方向性について調整、検討に努めている。協力病院との連携により救急時の対応も迅速に行えている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療面、設備面における対応範囲を明らかにし、ご本人・ご家族の希望を含めて、「出来る限り苦痛の無い楽しい時間を過ごすこと」の支援に努めている。ご本人にとってより良い生活を日々検討している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時のマニュアルを作成し、周知している。業務内やカンファレンス等で周知徹底をしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を実施し、災害時の対応を身につけると共に、地域の皆さんに協力を頂けるよう施設の事を理解して頂いたり、助言して頂いたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの意思を尊重し、周囲への配慮も意識した言葉掛けを行っている。個人情報に関しては同意書を取り、管理徹底をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	リズムある生活となるよう、1日の流れを作り支援をしている。但し、ご本人の意向を確認しながら、臨機応変な対応にも努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床から食事時間、レクリエーション、入床まで一日の流れにおいてもご本人の意思を尊重して本人のペースに合わせて生活して頂けるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合った衣類を用意し、できる限りお好みのものを選択して頂いている。定期的にヘアカット等も実施している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者のそれぞれの「出来ること」や「得意なこと」を大切に、それぞれの方の状況を見て、食事の下ごしらえや盛り付け、食器の片付け等を一緒に行うようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の摂食量を確認し、記録して状態を把握している。心身状況に合わせた状態での提供や好みに合う適したものを用意している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯磨きの声かけをさせて頂いている。義歯は夜間消毒を行い衛生面に注意している。訪問歯科による口腔点検や必要に応じた治療を受けて頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレの声かけや誘導介助を行い、できる限りトイレでの排泄を目指している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体を動かす時間を設けたり、好みの水分を用意し、摂取して頂くよう促している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	ゆっくりと入浴して頂けるよう、行事などの日程と調整をしながら、時間を確保している。ご本人のその時の気分や状態に合わせてお誘いさせて頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間の安眠を確保できるよう、一人ひとりのペースに合わせて日中過ごして頂くように努めている。体調も考慮して、必要な休養をすすめている。寝具の保清にも注意し、心地良い眠りの提供に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方毎に個別ファイルの薬カードを更新し、職員が服薬内容を把握できる様に努めている。往診時の医師からの指示等、情報提供書として現場職員へ提示している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食器洗いや掃除機かけ、洗濯干し等自らの意思で快く行って頂けるようにお声掛けさせて頂いている。また、いきいきと生活出来るよう様々なレクリエーションも行い、楽しみある生活を支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年間行事に沿って季節にあった計画を立て、実施している。ご家族にも行事案内し、参加を募っている。外気浴や散歩、買い物は適宜対応している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物の希望がある時は職員が付き添わせて頂き、好みの物を購入できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	職員が取り次ぎ、電話して頂けるようにしている。手紙等の郵便についても近くのポストまで職員が付き添わせて頂き、ご本人に投函して頂いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースに手作りの作品や思い出の写真等を飾り、いつでも見て楽しめるようにしている。また、日付けがわかりやすいように手作りの大きめのカレンダーを用意している。季節感ある空間づくりに努めている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室及びフロアにて一人ひとりがくつろいで頂ける様な空間づくりに努めている。落ち着ける静かな場所も設けている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具等を持ち込んで頂くことで安心して過ごして頂けるようにしている。また、好きな物を飾る等して居心地の良い空間作りに努めている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置や段差の保護を行い、安全配慮に努めている。できるところはご自身で行って頂けるように声掛け、一部介助をさせて頂いている。		